

文法① 言葉の単位

【本時のめあて】

文章・段落・文・文節・単語
について理解しよう！

○用意するもの：ノート、筆記用具



突然あなたに こんな手紙が届きました…



こんにちはおげんきですかこの
まえひさびさにねずみのえをか
いたよおもったよりもうまくか
けたからこんどみてほしいなま
たおちついたらいっしょにあそ
ぼうね

なぜねずみ?というのは
置いておいて…

この手紙を見てどう思いましたか？

平仮名だけで
読みづらい

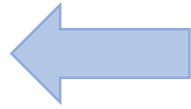
区切りが
わかりづらい



と思ったのでは？

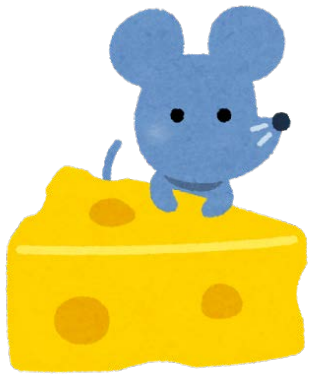
☆文章を区切って読みやすくしてみよう！

こんにちはおげんきですかこの
まえひさびさにねずみのえをか
いたよおもったよりもうまくか
けたからこんどみてほしいなま
たおちついたらいっしょにあそ
ぼうね



こんにちは。お元気ですか。
この前、久々にねずみの絵を
描いたよ。思ったよりも上手く
描けたから、今度見てほしいな。
また落ち着いたら一緒に遊ぼう
ね。

次のスライドから
ノートに書こう！
(イラストと確認
問題の問題は
書かなくてOK!)



文章…手紙や小説のように一つのまとまった内容。

段落…文章を内容のまとまりによって区切ったもの。段落の初めは改行して一字を下げる。

文…まとまった内容を表している一続きの言葉。文の終わりはたいてい句点(。)()や疑問符(?)、感嘆符(!)をつける。

《さっきの手紙で例えると…》

文

こんにちは。お元気ですか。
この前、久々にねずみの絵を描いたよ。思ったよりも上手く描けたから、今度見てほしいな。また落ち着いたら一緒に遊ぼうね。

段落

段落

文章

段落は内容で分けた「**意味段落**」(大段落)と最初の文字を「マス下げた」**形式段落**」(小段落)があるよ!

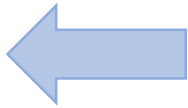


☆文を区切ってみよう！

不自然にならないように文を区切ったものを
文節といいます。

《例》

今日は私の誕生日です。



今日は／私の／誕生日です。
ね　　ね　　よ

間に「ね」「さ」
「よ」などを
入れると
わかりやすいよ！



☆文節をさらに細かく分けてみよう！

文節をさらに細かく分けた言葉の最小の単位を
単語といいます。

《例》

今日は／私の／誕生日です。



今日は／私の／誕生日です。

○ちなみに…

もともと単体で使われる二つ以上の単語が
結びついて一つの単語になったものを複合語
といいます。

《例》

- ・ 筆箱(名詞) || 筆(名詞) + 箱(名詞)
- ・ 勉強する(動詞) || 勉強(名詞) + する(動詞)
- ・ 見送る(動詞) || 見る(動詞) + 送る(動詞)
- ・ 目新しい(形容詞) || 目(名詞) + 新しい(形容詞)

☆確認問題

できるかな？



(一) 言葉の単位を大きい順に並べよう。

文章↓() ↓() ↓() ↓() ↓()

(二) 次の文章を読んで文節と文の数を答えよう。

星一つ見えない暗い夜道を、わたしは自転車に乗って酒屋へ向かった。だが、その途中も、わたしは、酒を買うことよりアオのことで頭がいっぱいだった。よくアオの背に乗って、広々と連なる白い砂浜を走り回ったこと。ゴシゴシと、弟と、アオの大きなからだを洗いながら水遊びにはしゃいだ日々。ぼんやりと寝ころんで、牧場の草をはむアオのそばで、オロフレの山を流れる真っ白な雲をながめたことなどを。

わたしが生まれて一三年、一日も離れたことのないアオと今別れるのだという悲しさが、さまざまな思い出とともに、せきを切ったようにわたしの胸にあふれた。涙がぽろぽろとほおを伝わって流れた。

・段落の数は()

・文の数は()

(三) 次の文を文節に区切ってみよう。

《例》

・明日は／七時に／起きる。

① 庭に花が咲いた。

② モモコは私の友達です。

③ 我が家のハムスターはとてもかわいい。

(四) 次の文節を単語に分けてみよう。

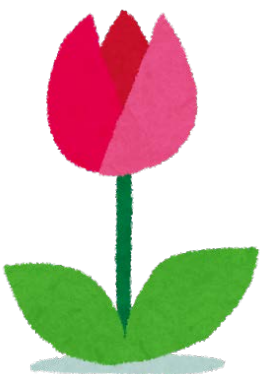
《例》

・僕—は—四月—から—中学生—に—なっ—た。

① 猫が 家の 近くに いる。

② 小麦粉で パンを 作る。

③ チューリップの 花は とても きれいだ。



☆答え

(一) 文章↓(段落)↓(文)↓(文節)↓(単語)

(二) ・段落の数は(2)

・文の数は(7)

(三) ①庭に／花が／咲いた。

②モモコは／私の／友達です。

③我が家の／ハムスターは／とても／かわいい。

(四) ①猫が一家の近くにいます。

②小麦粉でパンを作る。

③チュールリップの花はとても
きれいだ。

お疲れ様～！

